

評価基準

評価項目	評価内容		評価	係数	配点
業務遂行能力	業務実施体制	実施体制が具体的に提案されており、また、スケジュールに無理が無く、提案された企画内容を遂行できると予見できるか。	5・4・3・2・1	2	10
	業務実績	提案された企画内容と同種の実績、または、同種でないが企画内容が遂行できると類推できる実績があるか。	5・4・3・2・1	2	10
方針・枠組み	的確性	仕様書を的確に踏まえ、ターゲットやコンテンツの設定を含めて明確かつ具体的に提案されているか。	5・4・3・2・1	3	15
	実現性	実施日程、実施回数、会場設定などの実施方法等が具体的であり、実現性があるか。	5・4・3・2・1	3	15
企画提案内容	創意工夫	運動が好きではない子どもでも参加しやすいよう、内容に創意工夫があり、効果が期待できるか。	5・4・3・2・1	5	25
	習慣化・継続性	運動習慣化を目指すための方策が明確であり、体験会終了後の継続的な運動の実施につながる提案がされているか。	5・4・3・2・1	5	25
	告知・PR	より幅広い対象者に興味・関心をもってもらえるような周知内容となっているか。	5・4・3・2・1	2	10
		運動継続を希望する参加者に対し、運動を継続できるサービスや仕組みを紹介するノウハウを有しているか。	5・4・3・2・1	2	10
独自性	仕様書に記載された要件以外で提案された内容に独自性があり、誰もが参加しやすい体験機会の創出と運動習慣化という本業務の目的に寄与する優れた提案があるか。	5・4・3・2・1	2	10	
見積額	価格が最も低い提案者の評価を5点とし、他の提案者の評価については次の式にて算定する。 点数 = (提案者のうち最低見積額) / (提案者の見積額) × 5 (※小数点1位で四捨五入)		5・4・3・2・1	4	20
評定点合計					150

【評価】 5.特に優れている 4.優れている 3.標準的である 2.劣っている 1.特に劣っている